

2035~2040

NA-2

遠隔地でおいや手触り感が共有できるようになり、鳥取県の観光資源を県外や海外でリアルに体感することで鳥取県への来訪のきっかけとなる

概要

視覚・聴覚に加え、鳥取県のおいや手触り感といった臨場感・リアリティを遠隔でも共有できるVR/AR関連の科学技術が進化・発展する。このような技術を用いて、鳥取を体感できるイベント（例：「バーチャル大山登山」、「しゃんしゃん祭りの体験型パブリックビューイング」）が日本各地のみならず世界でも定期的に開催されることで、県内出身者にとっては、県外にいなながらも鳥取県を想起できて比較的容易につながりを感じられる機会となり、他県出身者にとっては、鳥取県の魅力やリアルをより身近に感じ、現地に足を運ばなくても手軽に接点を持てる機会となる。

変化のポイント(商品・サービス/価値観・行動/業界/などの変化)

いままでは

『鳥取県に訪問する』、『鳥取県のものを買う』など、鳥取県との接点のバリエーションが少ない



これからは

においなど臨場感ある再現技術により、より強固で幅広い接点の持ち方が生まれる